講義科目名称: アルゴリズムとデータ構造2 C5-B57-50 科目コード: 15890

英文科目名称: Algorithms and Data Structures 2

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分		
3年前期		3	2	選択 (教職「情報」は選択必修)		
担当教員		1	-			
山岸 祐己						
<u> </u>						
添付ファイル						
191/1 > > 1 > +						
講義概要	後期 実用 のプログラ なデータ構	プログラミン ラング要素を 舞造やアルゴリ	グ1 および 実用: :学習した. ここ゛	プログラミング実践演習 1 もしくは プログラミング実践演習 2,2年 用プログラミング 2 で,関数,配列・ポインタ,構造体,クラスなど では,それらの知識を生かし,具体的なプログラムを書くために必要 義する.この科目は,情報システム開発分野の実務経験のある教員が		
	担当する科本科目はア グ/オペレ	' ントレプレナ	ーシップ教育に ジメント/データ	おける 情報収集力/分析力/課題発見力・解決力/経営学/マーケティンサイエンス/開発・評価 に該当する内容を扱う		
授業計画	1	アルゴ時間計空間計乱数	算量	<u>±</u>		
	2-5	代表的な	ートと外部ソート 択法 入法			
	6-8	比較によ	スト			
	9	AL:④ プ 外部ソー ・クイッ ・マージ	ログラムの作成 ト法 クソート法			
	11-12	文字列圧 ・文法圧 ・Byte Pa ・RePair	縮			
	13-14	文字列検: ・素朴な: ・KMP法, ・パター:	索 文字列照合アルコ BM法 ン照合テーブル	ゴリズム		
	15	ハッシュ ・ハッシ ・オープ ・ダブル	ュ関数 ンアドレス法 ハッシュ法			
	16	試験	ログラムの作成 (60分・全てForm	msによる選択式問題・生成AIも含めたツール等の使用可)		
授業形態	講義を行い 講義実施力 アクティブ	講義を行いながら演習を実施し、課題として演習問題を出題する. 時間外での努力を期待する. 講義実施方法:オンライン (Teamsでのオンデマンド形式) アクティブラーニング:①:0回,②:0回,③:0回,④:15回,⑤:0回,⑥:0回				
達成目標	(a) 関数, (b) 基本的	(a) 関数, 配列・ポインタ等を利用したプログラムを書ける (b) 基本的なデータ構造とアルゴリズムを理解できる (c) 基本的なデータ構造とアルゴリズムを、C言語によって実現できる				
評価方法・フィ [、] ドバック	などのフィ	定期試験 60%, 課題 40% で評価する. 課題は採点して返却し, 結果をフィードバックする. 原則として, まなどのフィードバックは次回以降の授業内で実施する. 定期試験:60分・全てFormsによる選択式問題・生成AIも含めたツール等の使用可				
	課題:全てFormsによる選択式問題・生成AIも含めたツール等の使用可					
評価基準	「秀」: 道 「優」: 道 「良」: 道	評価基準は以下の通りとする 「秀」:達成目標の 90% 以上に到達している 「優」:達成目標の 80% に到達している 「良」:達成目標の 70% に到達している 「可」:達成目標の 60% に到達している 「不可」:達成目標の 60% 未満に到達している				

教科書・参考書	講義スライド
履修条件	「プログラミング実践演習1」もしくは「プログラミング実践演習2」に合格している場合に履修を認める
履修上の注意	期限内の課題提出によって各回の出席が確定
準備学習と課題の 内容	「プログラミング実践演習1」もしくは「プログラミング実践演習2」の内容を十分復習しておくこと 毎回の授業ごとに予復習には少なくとも3時間以上の時間をかけること
ディプロマポリ シーとの関連割合 (必須)	知識・理解:30%, 思考・判断:20%, 関心・意欲:15%, 態度:15%, 技能・表現:20%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	